

## ◆特集 平和を求める女性たち

# 日本が壊れてきた 裁判所が「NOWAR」を否定！今も19日行動に立つ

安保法制違憲訴訟・女の会原告 柚木 康子

**憲法9条を1ミリでも変えることは許されない**

2014年7月1日集団自衛権を容認する閣議決定がなされた時、これはクーデターと同じではないのか、こんな事は許されるのか、法治国家なのかと思った。それから2015年9月19日の安保関連法の強行採決までの日々、国会前の集会やデモなどに参加し続けた。

2015年2月14日母の家に行ったところ、95歳の母が小さな庭で座りこんでいた。びっくりして救急車で病院に搬送、大腿骨骨折であった。看病の合間にデモに参加しようと日比谷公園に着くや病院からの電話で戻ったこともあった。その後、骨折は治ったが心臓がおかしくなり結局5月に亡くなった。安保関連法などが無かったら母のそばにもっといられただろうに。

母は前夫を戦死で、残された子どもを列車事故で亡くした。戦後再婚し、私が生まれ、死んだ子の名前をとって私に「康子」と命名した。戦争が終わった時、「負

けてよかった。勝ったら軍隊がもつと威張る」と私に何度か話してくれた。

安保関連法は違憲との裁判はできないのかと思っていた頃、安保法制違憲訴訟の呼びかけがあり、石原都知事のババア発言裁判を闘ったメンバーを中心に女性だけの原告&弁護団で裁判をしようと準備が始まった。女の会の提訴は2016年8月15日敗戦の日だ。120余名の女性が各地から参加し、私は石原裁判のメンバー数名と事務局を担っている。

憲法9条を持ちながら、集団的自衛権を行使し戦争するなど認めることはできない。戦争で苦勞した祖母や母たちの「もう戦争はない」という安堵の思いを受けつぎ、中国各地を旅し平頂山の累々と重なる白骨の記念館、南京の虐殺記念館、731部隊の記念館などを訪れ、マレー半島で日本軍銀輪部隊が行った華人虐殺の墓をめぐり慰霊を続ける旅に参加した者として、アジア各地で加害行為を行った日本がアジアの人々に受け入れてもらう

には、憲法9条を1ミリでも変えることは許されないと  
思う。しかし今、岸田政権は閣議決定で戦闘機の輸出ま  
で行おうとしている。

## 日本の裁判所は壊れている

女の会の裁判だが、地裁では裁判長から原告全員の  
陳述書提出を求められ、事務局・弁護士で頑張つて全員  
分を提出した。裁判長は出された書類はすべて読んでい  
ますと語り、証人尋問、原告尋問の日程を決定した。そ  
の直後裁判長が公取関連の部署に異動、最高裁から裁判  
長が来た。この人が証人と原告13人の証言を聞いた直  
後にまた裁判長が交代した。その後この裁判長が女の会  
裁判の担当民事部の裁判長でないことが判明した。その  
理由を質すもきちんとした回答もないまま、安保法制懇  
の議事録の文書提出命令申立てを不要とし結審を急いだ  
ため裁判体の忌避を申し立てた。忌避は認められず、再  
開となった法廷で裁判長は、原告側代理人の発言中に突  
然立ち上がり、何やら言いながら陪席の裁判官と共に退  
廷した。私たちが傍聴席も国側のメンバーもあつげにと  
られ、弁護士が残っていた書記官に裁判長を呼んできて  
ほしいと交渉し、書記官は出て行ったが、「裁判長は戻  
りません」という、2度目も同様だった。結局1時間半

後に自主的に退廷しようとして外に出て驚いた！なんとエ  
レベータホールが鉄柵と衝立、50人を超える職員で封  
鎖され警察官もいたのだ。最初に出たメンバーは非常口  
から出ると追い出された。事務局と弁護士は抗議し、バ  
リケードを開けさせ12階の民事部まで抗議に行つたが、  
こんな事は前代未聞だろう。私たちが法廷から出て行け  
と言われなかったのは裁判長が閉廷を宣言しなかったか  
らだ。私たちは聞いてもいない判決日をボイコットした。  
判決は請求棄却でステージは東京高裁に移り、この4月  
19日で第5回口頭弁論を迎える。高裁でも事件が起き  
た。2023年6月26日の第2回口頭弁論で、「NOWAR」と書かれたTシャツを着た傍聴の男性が書記官  
により傍聴を拒否されたのだ。戦争放棄条項を持つ日本  
の裁判所で！女の会は裁判長に強く抗議した。

山梨事件の高裁でも8月に意見陳述予定の控訴人女  
性の和服の帯に「戦ぬ姿いくさすがた」とあるのを裁判長が隠すよう  
指示し布をかけたという。今年1月の判決日には控訴人  
らが着たTシャツの文字を隠せと言い、拒否すると退廷  
を命じ、20数人の裁判所職員がごぼう抜きで控訴人ら  
を連れ出したという。裁判所は何を考えているのだろう  
か？日本は政治も3流だが裁判所も壊れていると実感  
するこの頃だ。

(ゆのき やすこ)